



佐賀県立
金立特別支援学校
Pref. Saga Kinryo Special Needs School

学校広報情報誌

きんりゅう

Vol.54 2020.11

分校舎スポーツフェスタ

分校舎では、10月16日(金)に体育大会に替えて「スポーツフェスタ」を行いました。規模を縮小しての実施となりましたが、I課程の上級生の進行の下、それぞれが日頃の練習の成果を披露しました。その様子を紹介します。



★中学部Ⅲ課程「やってみよう～クラス対抗リレーバトル～」黄組と赤組に分かれてリレーで競いました！



★中学部 I・II課程「天気の子～中 I・II課程 Ver. 2020～」傘、シフォンなど演出がステキなダンスでした。



★小学部「ゆめをかなえて小学部」各課程で工夫した競技をリレー形式で行い、夢を叶える巻物をゲットしました。



★訪問教育「分校舎のみんなにエール」

パブリカのダンスビデオでみんなにエールを送りました！





相談支援部より



本校では、児童生徒一人一人のよりよい指導支援のために、児童生徒本人、保護者、職員が気軽に相談できる学校づくりに努めています。相談支援部では特に校内の相談支援の充実を目指しています。今回は支援会議についてご紹介します。

① 『個別の教育支援計画』作成のための支援会議

「個別の教育支援計画」は、入学から卒業後までの長期的な視点で、一貫して適切な教育的支援を行うことを目的として作成するものです。その作成にあたって、本人・保護者の意向を尊重し、支援に反映するために、児童生徒を中心とした関係機関の方々と連携し、情報と支援を共有するため、現在から将来を見通した指導支援の在り方について話し合ったり、お互いの役割を確認したりする支援会議を行っています。今年度はコロナ対策として、校内の関係職員と保護者のみで実施しましたが、関係機関とは書面にて、情報交換と共有を行い、子どもたちの充実した学習や生活のために、引き続き連携を図っているところです。

② 「個別のニーズ」に応じた支援会議

「生活の環境が変わって、子どもがとまどっているようだ。」「今の生活をもっと豊かにしたいのでいろいろな関係機関の意見を聞きたい。」などの個別のニーズに応じて開く支援会議です。これまでに培われた「本人を中心としたネットワーク」の関係者間で課題を共有したり、必要に応じて行政や福祉や医療等の新たな関係機関と連携を図ったりしていきます。また、「佐賀県障害のある子どもの学校生活支援事業」（巡回相談）を利用し、他の特別支援学校等から専門的な助言を受けることもできます。お気軽に、相談支援部までお声かけ下さい。

進路指導部より

○卒業生の進路先紹介

本校高等部生徒の卒業時の主な進路先は、「障害福祉サービスの利用」、「就職」、「進学」です。平成21年度から昨年度までの卒業生は145人で、「障害福祉サービスの利用」は129人、「就職」は8人、「進学」は2人です。また、6人が商業能力開発校や障害福祉サービスの日中一時支援だけの利用などです。

また、「障害福祉サービスの利用」を分けると、余暇活動や食事、入浴などのサービスがある「生活介護事業所」（医療が関わる「療養介護」を含む）の利用が99人で、はたらく活動をする「就労継続支援B型事業所」の利用が25人です。近年は、グループホームに入居し進路先に通うケースも増えてきました。

○高等部生徒の進路決定と移行支援会議

高等部卒業生の進路は、主に就業・施設体験（就業体験と表記します）をとおして決まっています。就業体験は2週間の期間を設定して1年に2回行っています（※進学や公務員を希望する生徒を含む就業体験を行わない生徒は校内で授業を受けます）。また、就業体験は希望の進路先に進めるように進路希望をもとに計画的に行っています。今年度は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けていますが、一人一人個別に対応しています。

高等部3年の秋から年末にかけて進路先が内定し、1～2月に、進路先への円滑な移行を目的とした「移行支援会議」を個別に行います。この会議には、進路先によって違いはありますが、卒業後も深く関わっていただく方々（進路先が「障害福祉サービスの利用」の場合は計画相談の担当の方や市町役場の担当の方など）にも出席していただき、今後とも必要となる支援等についての確認などもしていただいています。

佐賀県立 金立特別支援学校

〒849-0906
佐賀市金立町大字金立2339-2
TEL (0952)98-1135(代)
FAX (0952)71-8001
URL <http://cms.saga-ed.jp/hp/kinryutokubetsushien/>

